

建築

木材を多く使用するのは、家を建てる時、木を表面に出すことで、その良さを生かすことができます。

木を使う

市内産木材の利用者に話を聞きました

登米町森林組合では、お客様の要望に合った家づくりをするため、木材生産から建設まで行っています。もともと、山づくりから家づくりまでしたいと思っていたことと、自然環境に関心があったので、この仕事を選びました。現在、木材をクロスで隠した家が主流です。それだと、木材は何を使っても一緒。当組合で家を建てる時は、木を見せるように工夫しています。木のぬくもりや木目の美

しさを感ずてほしいですね。また、木材生産をしているので、さまざまな用途に対応した木材を用意でき、お客様の要望に合った家を建てるのが可能です。一般に、建築費に対して木材の占める割合は、2割程度と低く、市内産木材を使えば、登米市から助成を受けられるので経費を軽減できます。設計や材料にこだわった家を一度見てもえれば、その良さが分かると思います。

設計や材料にこだわった家をつくりま



登米町森林組合
Hiroiyuki Aizu
建築士 **会津 浩幸**さん(43)
富谷町

【問い合わせ】登米町森林組合(登米町大字日根牛小池100)
☎0220(52)2075



高橋さん一家(中田町)
夫 **まさかず 正和**さん(30) 長男 **りくと 俐渡**くん(4)
妻 **みき 美樹**さん(30) 長女 **と は 杜葉**ちゃん(2)

ハウスメーカーでは、土間の形など希望どおりにつくれないので、市内の工務店にお願いしました。そこで補助金のことを知り、市内産木材を使いました。梁を見せるつくりにしたかったので、材質の見た目の良さも必要でした。とても気に入っています。



延べ床面積 145.9㎡
市産材使用量 14.2㎡
使用率 98%
市産材の種類 スギ、ヒノキ

—コーヒー ドクターズ—
coFFee doc+ors **加藤 静枝**さん(キッチン担当)

半年前に、新メニューに合う皿を探していました。メニューは、おにぎりや豚汁などをセットにしたもの。もくもくハウスで探していたら、イメージどおりの見た目のきれいな高級感のある皿があったので迷わず購入しました。多少高くても木製品は落としても壊れにくいので、長く使えますからね。実際に使ってみると、料理が引き立ち、存在感もあります。お客さんにも好評です。今後も、メニューに合う木製品を探していきたいです。

※当店は迫町にあり、医療介護の相談ができるコミュニティカフェです。相談がなくてもご利用できます。



【問い合わせ】coFFee doc+ors(迫町佐治字中江3丁目8-1 J・Yビル1F) ☎070(55585)3049



市内産材の皿が料理を引き立てます(昨年10月のメニューのため、現在は提供していません)

森林ととも

日々の生活に木のぬくもりを

登米市は、コメや畜産など農業が有名ですが、林業も盛んな地域です。市の東部にほとんどの森林が集中し、各地域で特色ある林業・森林づくりが進められています。東和地区では、早から間伐による良質材生産や、森林資源を生かした原木シイタケやマイタケなど特産林産物が生産されています。登米地区では、登米町森林組合が丸太の生産から加工、家づくり、キノコ生産や森林公園の管理まで、森林に関する

さまざまな事業を展開する組合として全国的に有名です。津山地区では、国産材だけを加工する大規模な製材所が多く「津山スギ」の産地として知られています。間伐の促進と合わせた木材加工や木工品の製造が盛んです。また、若手林業者で構成する津山町林業研究会は、市内外を問わず子どもたちを対象とした林業体験学習などを開催しています。そのほか、市内には木の伐採や木工品づくり、ワサビ栽培などの達人「森



登米市産業経済部農林政策課
Masahiko Chiba
課長補佐 **千葉 昌彦**さん

の名人」が複数います。現在、林業は木材価格の低迷により厳しい情勢が続いています。採算が合わないため手入れを怠ってしまうと、森林は荒廃していきます。私たちは、森林を守り、次世代へつないでいく必要があります。市では、これまで地域材需要拡大支援事業や里山再生事業、森林の二酸化炭素吸収量販売事業など、市独自の事業を実施。これからの地域林業の活性化に向け、さまざまな施策を積極的に展開していきたいと考えています。先人が植林し、大切に育てられてきた森林が、いよいよ収穫の時期を迎えています。木を使うことが森林を守ることにつながります。家や食器、日用品などに木を取り入れた、木のぬくもりあふれる暮らしを楽しみ、そして森林浴で癒やされる。日々の暮らしを健康的で心地よく、そして森林も元気になる。登米市ならではの「木づかい生活」はいかがでしょうか。

林業振興の取り組み

地域材需要拡大支援事業

市民の皆さんが、市内に居住用の住宅などを、市内産木材を使用して、市内の建設業者が建設する場合に支援します。

延べ床面積	補助額
40㎡未満	10万円
40～80㎡未満	20万円
80～120㎡未満	30万円
120～150㎡未満	40万円
150㎡以上	50万円

【補助率】

10㎡当たり2万円以内

森林の二酸化炭素吸収量販売事業

市では、平成25年から環境省の認証を受けたJ-VERクレジットを販売。その収益を森林整備費用の一部に充てています。平成27年末現在、871ト(935万円分)を企業などに購入していただきました。

里山再生事業

森林所有者が行う身近な広葉樹林の整備を支援します。【対象経費】広葉樹の造林、天然更新の経費



平成27年9月30日、市役所迫庁舎でクレジット購入記念証贈呈式を実施。295ト(320万円分)を購入した、首都圏でスーパーを展開する樹マルエツに記念証を贈呈しました

【問い合わせ】産業経済部農林政策課(林業振興係)
☎0220(34)2716